

各都道府県担当部門 経由
公益財団法人日本生命財団 理事長殿

2019年度「児童・少年の健全育成助成」申請書（予備調査用）

1. 団体名 (正式名称)	(ふりがな)		()		設立・発足年月		10-(a) 活動の名称 (裏面参照)	コードNo.	活動の趣旨・目的・方法等	
	西暦		年 月		年 月					
2. 団体種類 (裏面参照)	コードNo.			助成財団 成団歴の	なし	あり ↓				
3. 団体連絡先 住所	(ふりがな)		()		電話(勤務先・自宅)					
	〒				()					
住所	〒				FAX(勤務先・自宅)					
	()				()					
様方・内・気付		メールアドレス		@						
[団体所在地・代表者自宅・その他()]										
最寄駅		線		駅から		徒歩		バス・タクシー		10-(b) 団体の活動と地域 とのかかわりの状況
4. 代表者	(ふりがな)	氏名		印		<自宅>		10-(c) 2018年度の活動実績(月別実施状況等)		10-(d) 助成により期待される活動の広がり・効果
	(ふりがな)	住所		〒		電話 ()				
						FAX ()				
						<日中連絡先>				
						電話 ()				
						FAX ()				
5. 当申請に 関する担当者 日中連絡先		役職		氏名		電話(勤務先・自宅)				
						()				
						FAX(勤務先・自宅)				
						()				
						メールアドレス				
						@				
6. 団体の 構成員		～小学生	中学生	高校生	小計	指導者	その他()	合計		
7. 主な指導者(複数名)の氏名・職業 (例: 学校教諭・市役所勤務・会社勤務・学生)						8. 主な収入源と金額(過去2年分) (会費、活動資金の主なもの、補助金等)				11. 助成物品の名称 (裏面参照)
(上記4に記載の代表者)						会員から徴収する会費		円(1人当り/年)		具体的助成物品・内訳(物品名・単価・数量・金額を記入)
(主な指導者)						2017年度		2018年度(見込)		
						会費				
						補助金 ()		()		
						助成金 ()		()		
						合計				① 物品購入総額(11の合計金額)
9. 日常活動の場所・曜日										② 助成申請額(30万円～60万円) ※万円単位(万円未満切上) (物品購入総額が60万円を超える場合、総額の6割以上となるよう設定ください。)
										円
										万円

(注) 1. 記入にあたっては裏面の記入例ならびにコードNo.をご参照ください。
2. 申請書等に記載の情報については助成選考にのみ使用します。また、助成決定分については結果の公表、当財団作成資料に使用させていただきます。
3. 記載紙面の追加(別紙参照含む)や規格外の紙面の追加はご遠慮ください。

記入上の注意事項 [記入例ならびにコードNo.]

◎黒インクまたは黒ボールペンにてご記入下さい。

2. 団体種類 主たる活動の内容・目的から下記区分にてご記入ください。

コード	団体の種類名	コード	団体の種類名
2	伝統芸能保存伝承団体	11	自然体験・アドベンチャークラブ
3	ジュニアリーダー・ボランティア団体	12	科学・工芸・工作活動団体
4	スポーツ少年団・スポーツクラブ	13	自然観察団体
5	武道団体	15	人形劇・おはなし団体
6	ボーイスカウト・ガールスカウト	18	心身障がい児関連団体
7	海洋・宇宙・交通等少年団	22	子育てサークル
8	みどりの少年団・自然保護団体	23	フリースクール
9	音楽・演劇団体	20	その他
10	子ども文庫活動団体		

3. 団体連絡先住所

- ・団体連絡先住所は、決定連絡文書や手続要領等の送付先となり、団体連絡先電話番号は、当財団からの連絡先・照会先となります。
- また、助成後3年間にわたって当財団から情報誌を団体連絡先住所宛送付しますので、確実に連絡がとれる住所・電話番号をご記入ください。
- ・団体連絡先住所が個人宅である場合は氏名を、勤務先である場合は勤務先名および氏名をご記入ください。

6. 団体の構成員

- ・団体に所属し、実際に活動している児童・少年および指導者の内訳をご記入ください。
- ・「小計」には「～小学生」～「高校生」の合計、「合計」には「小計」「指導者」「その他」の合計をご記入ください。
- ・子育て支援活動・療育支援活動・フリースクール活動の場合は、「その他」欄の()内に「保護者」「ボランティア」等記入の上、人数をご記入ください。

7. 主な指導者(複数名)の氏名・職業 (例: 学校教諭・市役所勤務・会社勤務・学生)		8. 主な収入源と金額(過去2年分) (会費、活動資金の主なもの、補助金等)	
(上記4に記載の代表者)		会員から徴収する会費 6000円 (1人当り/年)	
日生 花子	〇〇市役所勤務	2017年度	2018年度(見込)
(主な指導者)		会費	15万円 18万円
日生 太郎	元小学校教諭	補助金 (〇〇市)	5万円 なし
財団 一郎	大学生	助成金 ()	なし (〇〇財団) 5万円
財団 一子	会社員	寄付	1万円 寄付 2万円
		謝礼	1万円 謝礼 1万円
記入例		合計	22万円 26万円

9. 日常活動の場所・曜日	〇〇公民館 …毎月第2土曜日(定例会) △△山周辺等 …毎月第1・4土曜日	記入例
---------------	--	------------

10-(a)活動名称

コード	活動の名称
1	野外活動・自然体験活動等を通しての児童の健全育成
4	野外活動を通してのジュニアリーダー育成
5	異年齢集団の交流
6	児童・少年の居場所づくり支援
7	障がいのある子どもたちの療育支援・ノーマライゼーション推進
8	郷土芸能の保存・伝承活動を通しての児童の健全育成
9	地域に根差した文庫・読み聞かせ・人形劇を通しての児童の健全育成
10	芸術(音楽・演劇・美術等)を通しての児童の健全育成
11	創作太鼓・和太鼓演奏活動を通しての児童の健全育成
12	剣道・柔道等を通しての児童の健全育成
13	地域に根差したスポーツ活動を通しての児童の健全育成
16	子育てサークル・子育て支援ネットワーク
17	フリースクールの運営、不登校の子どもたちへの教育支援

10-(c)2018年度の活動実績(月別実施状況等)	10-(a)～(d)では
定例会(おはなし会) 毎月1回 4月 お花見・町探索 5月 …… 6月 ……	〇〇会への訪問交流活動 (年3回)
記入例	・活動内容が当財団の助成趣旨にかなっているか ・子どもの健全育成のための活動であるか ・日常活動が伴い、継続性があるか ・活動の推進のために助成が効果的であるか ・目的を達成するために適切であるか 等を判断します。

11. 助成物品の名称

下記例を参考にして、各種助成申請物品のうち、代表物品をご記入ください。

キャンプ用テント・用具一式	楽器一式/ミュージックベル
野球用具一式/カヌー・ライフジャケット一式	子ども用遊具一式/療育遊具一式
剣道防具一式	絵本・紙芝居/児童図書・書架一式
天体望遠鏡/双眼鏡・フィールドスコープ等一式	エプロンシアター/人形劇用具一式
農作業・園芸用具一式	調理器具・食器一式
長胴太鼓一式/伝統芸能用具・衣装一式	学習教材一式

* 申請後の内容変更は認められませんので、見積書等を取り寄せ、助成希望物品・金額を十分検討のうえご申請ください。